

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20452	
事業名	子ども医療助成費						
評価担当課	所属名	保)保険医療部 保険企画課					
	課長名	春田 一実	担当者名	小代 葵	電話番号	011-211-2960	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	子どもの保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図る。				
		長期	子どもの保健の向上に寄与するとともに福祉の増進を図る。				
	取組内容	【内容】0歳から中学生までの子どもに係る医療費自己負担分の一部を助成。 ①0歳～小学生は、入院・入院外が対象で、初診時に一部負担金 医科580円、歯科510円を自己負担。②中学生は、入院のみ対象。■生計維持者が市民税非課税の方は、上記の初診時一部負担金のみ自己負担。■生計維持者が市民税課税の方は、一割負担(ただし、57,600円/月の限度額あり。)					
実施結果	0歳から中学生までの子どもに係る医療費自己負担分の一部を助成。 助成件数 1,939,161件 助成金額 3,874,066千円						
事業実施における工夫点	安易な受診を誘発しないため、一部負担金を設けている。						
対象者	0歳から中学生までの子ども			開始	昭和48年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市子ども医療費助成条例・施行規則 北海道医療給付事業補助金交付要綱						
他都市の状況	道内他市町村、他政令市にも同様の制度がある。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	2,754,785	4,549,426	3,874,066	4,585,979	
うち特定財源	793,622	1,128,694	988,683	1,116,480	
人工	15.0	15.0	15.0	15.0	
人件費	108,000	108,000	108,000	108,000	
計(事業費+人件費)	2,862,785	4,657,426	3,982,066	4,693,979	
事業費の内訳	令和3年度決算	就学前及び小中学生への医療費助成金(扶助費) 3,874,066千円 助成単価(1件あたり) ①未就学1,889円 ②小学生(通院)2,033円 ③小学生(入院)56,617円 ④中学生(入院)37,002円			
	令和4年度予算	就学前及び小中学生への医療費助成金(扶助費) 4,585,979千円 助成単価(1件あたり) ①未就学1,721円 ②小学生(通院)1,930円 ③小学生(入院)50,911円 ④中学生(入院)31,418円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	指標化困難		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
活動指標2	指標名	指標化困難		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	指標化困難		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名	指標化困難		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	当事業において、医療費を助成するサービスを提供し続けることによって、子どもの健やかで安心した生活を送るための環境づくりに寄与していることから、事業の成果と施策への貢献度は高いと考えられる。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	札幌市では、道の定めた補助基準を一部拡大して当事業を実施しており、事業規模及び拡大状況については他の道内市と比較しても妥当であると言える。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	当事業において医療費の一部を札幌市が現物給付及び現金給付することにより、受給者は当事業で定める一部負担金のみで医療機関等を受診できる仕組みとなっている。これについては、適正な手法により事業が実施されているといえる。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	少子化が大きな社会問題となる中、子ども・子育て支援策について一層の充実が求められており、医療の面において子育て支援に寄与する当事業の必要性は高く、今後も継続して実施していくことが求められる。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	所得制限のあり方や、助成範囲の拡大等、今後の事業の方向性を引き続き検討していく必要がある。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	適正に執行されているため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 次年度も同規模を見込んでいる。		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 次年度も同規模を見込んでいる。		見直し効果額 0 千円